

理工学 メディアセンター ニュース



Media Center for
Science and Technology
Newsletter

私の一冊

数理科学科

田村明久先生

『プレゼンは「目線」で決まる』

西脇資哲著

(ダイヤモンド社)



配架場所：創想ライブラリー

私が紹介するのは、プレゼンに関するビジネス書である。本書の「プレゼンのゴールは聞いている相手を動かすこと」、「ビジネスの現場では相手を動かしてお金をいただくこと」に衝撃を受けた。

自分自身がプレゼンの目的を「相手を動かすこと」と設定していなかったからであり、教えている学生の多くがビジネス界に進むからである。教員としてプレゼンへの姿勢を考え直すきっかけとなった一冊である。

学生の皆さんにもプレゼン上達の参考になると思う。一読あれ！

Contents

第2回プレゼンバトルを開催します！	p.1
第21回サイエンスカフェを開催しました	p.1
今年も行ってきました！ 選書ツアー	p.2
論文掲載料(APC)割引情報更新 にご注目ください！	p.2

イベント

第2回プレゼンバトルを開催します！

2019年以来3年ぶりにプレゼンバトルを開催します！

プレゼンター募集には、様々な学部・学年の塾生から多数のエントリーがありました。どのテーマも興味深く、プレゼンを聞いてみたいものばかりでしたが、時間の都合上選考を行い、当初予定の5名から1名増やして6名のプレゼンターを決定しました。

今回も熱いプレゼンバトルが期待されます。是非会場で観戦し、No. 1 バトラーを決める投票にご参加ください。

6人の挑戦者が決定！No.1は誰の手に？

吉田健人、梅田勇人、森下航宇、山下悠平、国武悠人、しがないONCE

第2回プレゼンバトル
12/15(木) 観戦者募集!
18:10~20:15(予定)

観戦者対象：塾生、教職員
定員：30名程度
場所：理工学メディアセンター 創想館1F

観戦方法：QRコードをスキャン

お問合せ先：理工学メディアセンター E-mail: rmc-info-group@keio.jp

【日時】 2022年12月15日(木)

18:10-20:15(予定)

【場所】 理工学メディアセンター創想館1階

【観戦者定員】 30名程度(対象：塾生・教職員)

※当日のオンライン配信は行いません。

■プレゼンバトルとは？

・プレゼンター各々が選んだテーマを7分間でプレゼンテーション。

・5分間の質問タイム。

・最後に、もっと聞いてみたかった、面白かった！という

プレゼンに参加者全員で投票し、No.1プレゼンターを選びます。



第1回プレゼンバトルの様子(2019年10月開催)

観戦者参加
申込みはこちら



イベント報告

第21回サイエンスカフェを開催しました

11月11日(金)、システムデザイン工学科の小川愛実先生をゲストスピーカーにお迎えして、第21回サイエンスカフェ『健康をデザインする生活空間』を開催しました。

今回は会場とオンライン配信を合わせて67名にご参加いただきました。小川先生の研究テーマを既にご存知の方や、ご自身の研究と関連付けて臨まれた方だけではなく、異分野からご参加の方も多くいらっしゃいました。

小川先生の講演は、ストーリー性のある展開でとても分かりやすく、「家ってどんな場所/存在ですか?」「住み慣れる=建築と人が互いに『なじむ』」「フリーアドレス住宅」など住環境に関する興味深いキーワードに参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。質疑応答も時間が足りなくなるほど多くの方が挙手され、大盛況のうちに終了しました。

もう一度聞きたい方や、参加できなかった方のため、当日の動画をイベント情報ページに公開します。また、次回のサイエンスカフェは、来年度開催予定です。どうぞお楽しみに。



今月の一枚：
文献複写申込書



館内のコピー機のそばに「文献複写申込書」がある意味をご存じでしょうか。

大学図書館では著作権法によって所蔵資料を一定の範囲で複製することが認められていますが、本来は図書館が主体となって複写物を提供することになっています。ただし、大学図書館で共通の実務要項を定め、皆さんが著作権法遵守の誓約書を兼ねる複写申込書を提出し、図書館がその内容が適正かチェックすることによって、セルフ式のコピー機で複写をすることが認められています。

コンビニなどで気軽に行う私的複製とは扱いが異なりますので、お手数でも用紙に記入・提出のうえ、著作権法の範囲内でコピーをお取りください。「範囲内」の条件は申込書に書かれていますので、ぜひ直接ご確認ください。

メディアセンター豆知識

館内での貸出機器

貸出・返却カウンターでは、館内利用可能な各種機器(電源タップ、CD/DVDドライブなど)を用意しており、学習・研究が捗るように貸出をしています。

感染症防止対策のため、館内PC用ヘッドホンの貸出は停止していますが、代わりに使い捨てイヤホンをお渡ししています。「オンライン授業なのにイヤホンを忘れた！」とお困りのときは、貸出・返却カウンターにてお申し出ください。ただし、館内で利用される方用のため、持ち帰りにイヤホンをもたらう目的ではお渡しできませんのでご注意ください！



←貸出機器一覧は左記のリンクよりご確認ください。

展示

今年も行ってきました！ 選書ツアー

理工学メディアセンターでは、9月1日に第3回選書ツアーを開催しました。

「選書ツアー」とは、学生スタッフと職員が直接書店に出向き、読みたい本・図書館に置いてほしい本を選ぶ企画です。今回は、ラーニングサポートの院生スタッフ4名と職員2名の計6名での参加となりました。選書ツアー開催地は、東京駅丸の内北口改札を出てすぐ、丸の内オアゾにある丸善雄松堂丸の内本店です。1～4階の店内をまわり、たっぷり2時間半かけて、約200冊を選びました。

既存の資料との重複を調査してから、晴れてメディアセンターの蔵書となった104冊を12月から創想館1階で展示いたします。話題のフィクション・ノンフィクション、実用書から専門書まで、読みたい本・読んではほしい本が揃っています。同じキャンパスで学ぶ学生や先輩が、どんな本を選んだのか…？ 気になる方はぜひお手に取ってみてください。本を選んだ院生スタッフが手作りしたPOPにも注目です！



研究支援 計画的なオープンアクセス化のために...

論文掲載料(APC)割引情報更新にご注目ください！

慶應義塾大学がCambridge University Press社(CUP)と結んでいた、論文のオープンアクセス掲載料(Article Processing Charge : APC) が免除となるRead & Publish契約は、2022年末をもって終了となります。本契約でのAPC免除は、**【2022年12月27日(火)17時】までにメディアセンターでの承認作業が完了しているもの**が対象です。

CUPでの免除は終了となりますが、新たにOxford University Press社(OUP)とのRead&Publish契約により、APC免除対象となるOUPのオープンアクセス(OA)誌が加わる予定です。さらに、Wiley社のハイブリッド誌・ゴールドOA誌もAPC免除の対象となることが決定しています(上限枠あり)。その他にも、慶應義塾大学に所属する著者に対し、要件を満たすことでAPCが割引される対象に、Royal Society of Chemistry(RSC) Gold Packageのハイブリッド誌や、DeGruyter社のComplete Package対象誌などの追加が予定されています。いずれも**2023年1月からの開始を予定していますが、出版者ごとに対象期間、著者や論文タイプ等の要件・条件が異なり、上限枠が定められているものや、対象外とされるタイトルもあります**。詳細についてはメディアセンターのオンラインガイド【オープンアクセス論文を探す・公開する】にて公開のうえ、随時情報更新します。論文投稿の際には欠かさずにご活用ください！



* 慶應ID(keio.jp)認証が必要なリンクが含まれます！



理工学メディアセンター機関リポジトリ

ΣStar(シグマスター)

ΣStarでは理工学部の研究・教育成果のうち、電子化され、著作者の許諾が得られたものを公開しています。学位論文・プレプリント・リサーチレポート・その他教材など、登録のご相談は理工学メディアセンターまでお寄せください。



発行

慶應義塾大学理工学メディアセンター

〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1

TEL: 045-566-1477

E-mail: rmc-info-group@keio.jp

URL: https://www.lib.keio.ac.jp/scitech/

電子版はWebサイト「理工学メディアセンターについて」メニューにある「刊行物・統計」よりご利用ください。

Twitter

